学校番号	４１４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　言語文化」　（数研出版）						
副教材等	「新しい古典の学習 2in1 ｽﾀｲﾙ 学ぶぞ 古文と漢文 新装版」（尚文出版） 「学ぶぞ古文と漢文 基本練習ﾉｰﾄ」（尚文出版） 「ポイント書く解く マスター古典１ 二訂版」（啓隆社） 「必携頻出　古文単語 340＋漢文語彙 210　ダブルスタイル 550」（尚文出版） 「新訂版　最新国語便覧」（浜島出版） 「国語便覧　確認ノート」（浜島出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

多様な古典作品を読めるようになることを目標として力をつけていきます。そのための基礎としての文法や重要単語は繰り返し学習し自分のものとしましょう。さらに、積極的に古典作品にも親しむようにしてください。自分の考えを文字で表現し、学習の進み具合を客観的に見る態度を培って参りましょう。また、近代作品と古典作品を比較しながら読み進めていきましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文入門 ［教材］ 古文の特徴および歴史的仮名遣い P36～37	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を単語帳や古語辞典等で調べている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	説話 ［教材］ 「児のそら寝」 （宇治拾遺物語） P34～35	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	近代小説（二） ［教材］ 城の崎にて （志賀直哉） p 268～283	a:我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[書]:自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確に書いている。 c:進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
二学期	歌物語 ［教材］ 「芥川」 （伊勢物語） P60～62	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:粘り強く『伊勢物語』と『今昔物語集』の違いを抽出し、学習課題に沿って文章表現についての話し合いに参加しようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	日記物語 ［教材］ 「門出」 （土佐日記） P112～113	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:旧暦や古時刻、旧国名といった古典常識について積極的に調べ、学習課題に沿って理解を深めようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認

	日記物語 ［教材］ 「帰京」 （土佐日記） P116～119	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:結びの一文に込められた作者の意図について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	漢文編入門 ［教材］ 入門一、二 P146～155	a:言葉には、文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:日常使う漢語、格言，成句の意味を漢和辞典で調べ，その由来を調べている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	故事 ［教材］ 狐借虎威 P160～161	a:本文の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	詩歌 短歌・俳句 ｐ258～267	a:時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考えかたを捉え、内容を解釈している。 c:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
三学期	史伝 ［教材］ 先従隗始 p170～171	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	随筆(二) ［教材］ 中納言参り給ひて p96～99	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c: 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認

		作者の考えを的確に捉えようとしている。			
	小説１ ［教材］ 「羅生門」 （芥川龍之介） P214～237	a:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[書]:自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、的確に表現している。 c:進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　　() 時間

・書くこと　…　（１０）時間

・読むこと　…　（６０）時間